

「^{まい}コロ」って参って12年

皆さんいかがお過ごしでしょうか。

只今、猛威を奮っている「新型コロナウイルス」をもちってのお話ではありませんが、私自身が「湘現会」に入会してもう12年、ホームページで「皆さんのお便り交換」を拝見して、投稿してみたくなりました。

遡ること、12年前の「2008年10月」、会員に登録され、翌年の1月末、横浜の「ロイヤルホテル」で開催された「15周年記念行事」には、「参加費もそれなりのお値段」でしたが、早々と参加させていただきました。

参加者も60数人と、見るからに「紳士淑女」の「お集まり」ではないかとの錯覚を覚え、悔やむも後の祭りで、どなたも初めての方々で、今では、皆さんから「何をバカな！」と言われそうですが、「借りてきた猫！同然」で、子供の頃、田舎での方言「おっちゃん」を思い出して物静かにしていました。

素晴らしい演奏や、飛び交う会話にうっとりして、「いいシニア会に入会」したものだと、密かに思いを馳せていました。

パーティもたけなわの頃になり、傍に「いかにも人懐っこい御仁」から、笑顔で話しかけられ、緊張しつつ、お話を伺うに、「湘現会」では、「隔月に定例会を開催」し、会場として「鎌倉芸術館」を予約しているようで、6か月前の「月の初目」に「抽選会」がある旨、今回は「2月1日」が当該日で「よろしく」とのことでした。

更には、「世話人へのお誘い？」など、全く右も左も判らないまま、受けざるを得なくなり、世の中には「ソフトで説得の達人」がいるものと感心して12年のお付き合いになりました。

以上が、「湘現会」の創設以来、26年の長きに亘って君臨している、「4代目代表・桑原啓二さん」との、馴れ初めで、実に稀有な方に遭遇したものと思いつつ、今年には齢80歳にもなるので、4月の総会で「お役御免」になる筈でしたが、「想像を絶すること」が起り、世界中を混乱の中に陥れており、2月からは「湘現会の行事」も、今日まで見合わせの状態でお手上げ状態です。

しかしながら、「ピンチがチャンス」とのことわざが冗談として言えないまでも、「お声かけの天才・桑原代表」に「素晴らしい紙面で、もっと読みたいホームページの熟達者・青野世話人」の「コラボ」で、ここ1か月近く、「会員同士の絆を深める記事」が創り出されていることは、誠に素晴らしいことと思います。

「温もりのある場を醸成」するのが、「湘現会」の「永遠（とわ）の願い」で、「災い転じて福」と為す、「貴重な時間」がプレゼントされたものと得心して、一日も早く「新型コロナウイルス」が、終息されんことを、お互いに励まし合いながら、毎日、毎日を健やかに過ごしたいものですね。

私自身も、皆さんのお役立ちできるような事柄を、発信できるような人間ではありませんが、この12年間での思い出を、時折、織り交ぜながら、書き綴ってみるつもりです。